

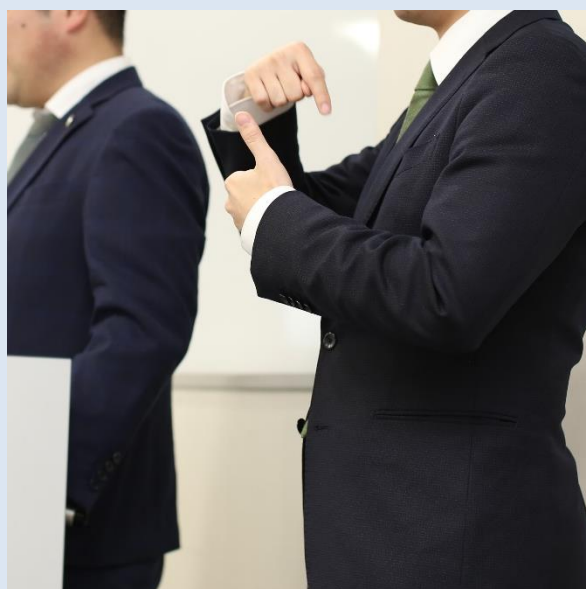
signers (サイナーズ)

シースルー型ARグラスを活用した新形態の補聴器の開発

聴覚障害者への情報保障の課題



重度難聴者は補聴器をつけても
人の声がほぼ聞き取れない



手話通訳・要約筆記は手配が大変で
なかなか用意が難しい



文字起こしアプリなどでは
手元に視線が集中し前方が見づらい



技術が進んだ今だからこそ、視覚的な補聴デバイスを！



会場



字幕

ARグラスにCPUを搭載し、音声認識機能を活用して内部で音声を変換。音声の取り込みにはBluetooth付き補聴器もしくはBluetooth付きマイクなどを使用。

手話通訳

話者の音声をインターネットで遠隔手話通訳者に伝送し、手話通訳者はその音声を聞きながらWEBカメラに向かって通訳する。その映像を聴覚障害者の端末に送信、グラスに投影。

音の検知

現在の補聴器では音の方向を知ることが難しい。指向性マイクを活用して音を検知し、方向が分かるように可視化することで、この課題を解決したい。

